

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 104

2019/06/07/Fri

修学旅行まであと1週間

フランスの画家ゴッホ誕生1848年

ノルウェー、スウェーデンが分離宣言1905年

計量法公布 1951年

第一回日本母親大会開催 1955年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

悲しい事件が起きないように～6/6(木)の訓練から～

失う二度と戻らない大切な命を守るために

「避難訓練」及び「不審者対策訓練」が学ぼう！



5/28(火)に神奈川県登戸で起きた通り魔事件は大きな衝撃を与え、日本中が悲しみに包まれたニュースでした。3年前には相模原市の障害者施設「やまゆり園」に不審者が侵入して19名を殺害するという悲惨な事件も起きています。また、最近では想定外と思われるような交通事故によって命を落とす事故も起きています。これらの特徴は次のような点が挙げられます。

- ①被害者に落ち度(悪いところ)はない。
- ②弱者が被害者になりやすい。
- ③犯人の動機・理由が不明。
- ④どこで何が起きるか予測がつかない。



学校では生徒たちの「命を守る」ことを目的とした訓練が多く行われます。その中の一つが昨日実施した訓練でした。このような事件・事故に巻き込まれないようできる限りのことをし、生徒たちが安全・安心して生活できるようにと考えています。



避難訓練 … 避難場所や避難経路、避難方法の確認をし、安全に避難できるようにする訓練です。「自分の命は自分で守る」ために主体的な行動が求められます。



不審者対策訓練 … 主に登下校時に不審者に出会ってしまった場合の対策です。

講師として真岡警察者スクールサポーター・平野伸夫様と、真岡警察署真岡駅交番所長・高橋雅人様を招き、具体的な対応や避難、退避行動等を指導していただきました。

ニュースから流れてくる事件は決して他人事ではありません。真岡市内においても不審者情報がよく流れてきています。不審者に出会わないことが一番よいのですが、万が一の時には今回の訓練を生かすとともに日常から周囲の変化に敏感になることが大切です。そして、安全意識を高め、改めて生命の安全、生命の尊さを理解してほしいものです。

来週は「修学旅行」「マイ・チャレンジ体験活動」

着々と準備を進めていこう！

6月に入り、アート文化部作成の「あじさい」を校長室の入口に飾ってくれました。この季節にピッタリの色鮮やかな作品です。6月は大きな行事があり、実行委員会を中心に準備が進んでいます。ぜひ成功させましょう！



校長講話(5/21)…「五輪の歴史に学ぶ」…③

この前の社会の授業で習ったけれど、古代オリンピックが始まったのは紀元前だなんてビックリしました。でも、最初のオリンピックが男子だけしか参加できなかったというのもまた、男女に差別があったんだと思います。校長先生の講話って、なんかとっても勉強になったので、次の講話も楽しみです。(1-2)

船に乗って会場まで行ってオリンピックに出て、体調を崩しながらも銀メダルが取れたことは、すごいと思いました。人見選手はまだ若いのに、その3年後に亡くなってしまったとは苦しかったのだろうと思いました。希望であった教師になっていたら、もう少し長く生きていられたでしょうか。(2-1)

私たちにとって東京2020とは少し身近にオリンピックがある感じがします。今までのオリンピックを振り返ると日本人がメダルを取ったり良い成績を残したりするのはとても偉大なことだと改めて思いました。東京2020へ向けてバリアフリーや禁煙など様々な取組がなされています。みんなが嫌な気持ちにならないように日本人が見本となって行動することが大事だと思いました。(2-3)

同じものを得たとしても、努力を積み重ねて得たものと、楽をして得たものというのは、大きく違うことが分かりました。オリンピックに出場し、メダルを獲得した選手は皆一つの目標に向かって数え切れない努力と時間を使い成功してきたのだなと思いました。私も中間テストで頑張りたい。(3-1)

オリンピックの歴史から、スポーツは人を勇気づけるものだというのを学びました。100m走は1回数秒の競技にもかかわらず、猛練習をするのが本当の陸上の世界なんだと感じました。諦めない心を持つことも大切だと改めて感じ、勉強や部活動にさらに頑張っていきたいと思いました。(3-3)

人見絹恵選手は800m走に間に合うからエントリーしたのがすごいと思いました。しかもメダルも取って、私もこんな選手になりたいと思いました。100×4リレーのビデオを見て鳥肌が立ちました。私は元100m走をやっていたので、こういう姿を見るとやっぱりあこがれます。小学5・6年とリレーに出ているので中学でも出たいです。(1-3)

講話で、今は普通に女子選手も出られるのに、昔は出られなかったと聞いてビックリしました。それに種目です。今と昔では全然種目が違うことが分かりました。今から10年後、20年後とまた種目が増えたり変わったりするのかと思うとわくわくしてきます。次の2020年に向けて、日本選手には頑張ってもらいたいです。(2-2)

オリンピックの歴史は古代・近代に分かれていたのは知らなかったけれど、知ることができました。人見絹恵選手はとてもすごいなと思いました。(2-4)

私もリオ大会の陸上男子100×4リレーはテレビで見ました。バトンが次々とスムーズに渡っていくのを見るたびに鳥肌がたちました。3年後の今、またあの動画を見て感動がよみがえってきました。私も自分の夢に向かって頑張ろうと思いました。(2-4)

古代オリンピックはとても歴史が長く、近代オリンピックが始まったのは思っていたより最近ということに驚きました。人見選手は短距離選手なのに800mで銀メダルを取ってすごいなと思いました。2020年に東京で開催されることは珍しく、嬉しいことなので日本全体が一つになって熱く盛り上がってほしいなと思います。(3-2)

人見絹恵選手は専門種目ではないのに、日本国民を勇気づけようと800mを走るなんて、誠実さが伝わってきました。期待を背負うとプレッシャーと感じてしまうのはスポーツならではの圧力ではないかと思いません。一流選手だからこそ感じるプレッシャーに、私たちは選手たちへの配慮が必要だと感じます。(3-3)